

第13号

発行日

平成25年3月1日

編集・発行所

宮城県気仙沼向洋高等学校同窓会

宮城県気仙沼市九条213-3

電話(0226)22-1131



睦水

宮城県気仙沼向洋高等学校
同窓会創設100周年記念懇親会



平成24年11月9日サンマリン気仙沼ホテル観洋にて



あの日より二年目の春を 迎えた母校そして同窓会

同窓会長 熊谷幹夫

平成二十四年度向洋高校卒業生の生徒諸君、本日はご卒業おめでとうございます。あの東日本大震災から二年目の春が訪れました。

また、同窓生の皆様には自らの事、地域の復興等各分野で頑張っておられる事と存じます。

復旧復興のスピード感には各々の立場、環境等で異なると思えますが母校向洋高校建設計画も示され復旧・復興推進委員会も森会長はじめ各委員も建設促進活動も実をむすび一定の評価をしておりますが、どの様な姿かたち、生徒の為の教育施設等々、これからの促進活動が肝要と存じます。

実習棟、部活動練習場の確保等喫緊の課題を県教委として教育現場の学校がどう捉えて向き合っていくか。が、生徒には期間三年の時間しかないのだから、一年時階上の地の旧校舎で学び二年三年時は西高、響高、米谷工高での分散授業として仮設の学び舎での授業と千変万化の中で今春巣立って行く卒業生諸君の事を思うと心が痛みます。

昨年二十三年度卒業生の同窓会入会式久しぶりに卒業式と同日に父母の方々もご臨席見守る中で行われました。色々なご意見もあるとは存じますが、卒業して同窓会に入会するという儀式をご父母、ご来賓そして先輩同窓生の見守る中でこの式は改めて仲間入りしたとの自覚とあの大震災時いち早く対応し関東や仙台同窓会会員の皆様からの義援金、ご支援を想い起こ

し同窓生としての絆を改めて心に刻み母校への思い後輩への思いを強くされた事と思います。今年二十四年度入会式も昨年同様卒業式に同日挙行といたしました。

同窓会創設百周年記念講演会で佐藤真海選手の講演で「どんな苦境の中からでも明日への夢、希望を持って生きる、努力する事の大切さ」を学びとった事と思います。心が痛みますと前述しましたが、



平成29年度までに新築完成!!

移転新築候補地の階上長磯牧通地区

気仙沼向洋高等学校復旧・復興推進委員会

会長 森 琢 男 (同窓会副会長)

同窓会、PTA、教育振興会は平成23年8月復旧・復興推進委員会を組織し、県知事や県教育長に校舎の早期移転新築を求めてきました。

平成24年7月には再建にかかる事業説明会が県教育長により行われ、地元の賛同を得ました。

この地区唯一の実業高校で復興を担う人材育成に欠かせません。新築移転が具現化し、安心しました。今後は一日も早い校舎建築を求めています。



生徒諸君は震災経験を不遇と思わず貴重な体験として大きく成長飛翔される事を切望致します。同窓会も母校新校舎開校に向け教育環境施設等の母校支援の為に同窓会の足腰を強くする為に若い力が必要との考えで役員会に於いて各支部の再興、各学年や各OB会等、特に若い同窓生の方々の考え方やお力を頂戴して母校の後輩在校生のお役に立てればと思っております。同窓生皆様のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げ、そして、同窓会総会でお目にかかります事を楽しみに睦水発刊にあたりご挨拶と致します。



同窓生の皆さんの想いに触れて

校長 瀬戸 巳治雄

平成二十四年度の同窓会関係行事は、七月一日(日)の関東同窓会総会(於第一ホテル両国)を皮切りに、七月十三日(金)本校同窓会総会(於気仙沼ホテル観洋)そして仙台同窓会総会創設一〇一周年に当たり、昨年からの震災で延び延びになっておりました同窓会事業として「本校志教育事業及び本校同窓会創設一〇〇周年記念講演会」が十一月九日(金)に気仙沼ホテル観洋で開催されました。

これら同窓会行事の中で、特筆すべき点はいくつかあります。一つは、関東同窓会所属の菅原清画伯からは、「本校同窓会創設一〇〇周年記念懇親会」の席上で、梅香る梅林を描いた絵画と唐桑の「折石(おれいし)」を描いた力作の二点を頂戴したことです。心温まる贈り物に感激するとともに、本校舎完成までに校長室に大切に保管させて頂きたいと考えております。二つ目は、仙台同窓会所属の浜田堂光様からは、本校舎再建に先立って、校名板と校歌板を寄贈して頂き、十月二十四日(水)早朝より掛け参じて頂きました『世界遺産』(全十二巻・毎日新聞社)とともに頂戴しました。いづれも震災で失った校名板及び校歌板とその力作に込められた先生の母校への思いをお届け頂き、

本校同窓会総会におきましては、大震災による本校の被災状況を憂慮して母校の行く末を案じて下さった諸先輩の皆さんが、母校再生のために「本校復旧・復興促進委員会」をいち早く立ち上げて関係機関への陳情を練り広げ、将来への道筋を明確にして頂

きましたことに対する感謝と御礼を申し上げたところで、仙台同窓会総会では、同窓会をお世話頂く方々の顔ぶれが替わる中で、かねてより宮城県芸術協会評議員の浜田堂光先生から校名板と校歌板を揮毫(きこう)頂くとの嬉しいお知らせを頂き、今後の手はず等について縷々ご説明を頂戴したところで、同窓生の皆さんの母校を思う心根に感激を覚えた次第でございます。

平成23年度 事業報告

- 23年
 - 4月 7日 同窓会・PTA・教育振興会臨時会議
 - 気仙沼西高校
 - 22日 入学式 気仙沼西高校武道館を借用
 - 7月11日 第1回役員会 くら兵衛(市内)
 - 23日 第2回役員会 くら兵衛(市内)
 - 26日 校内事務局会議 本吉響高校
 - 29日 気仙沼西洋高校同窓会総会
 - 気仙沼魚市場 会議室
 - 8月26日 同窓会・PTA・教育振興会三者会議
 - 気仙沼魚市場 会議室
 - 9月 4日 同窓会三役会
 - 26日 同窓会・PTA・教育振興会三者会議
 - 気仙沼魚市場 会議室
 - 10月 7日 気仙沼漁協への賛同要請 気仙沼漁協
 - 12日 気仙沼商工会議所への賛同要請
 - 気仙沼商工会議所
 - 気仙沼市長・議長・教育長への陳情
 - 気仙沼市役所
 - 14日 宮城県知事・議長・教育長への陳情
 - 宮城県庁
 - 11月 9日 第3回役員会 気仙沼西洋高校
 - 30日 気仙沼市との懇談会 気仙沼市役所
 - 12月 1日 第4回役員会 兼 忘年会 泰平寿司

- 24年
 - 1月27日 仙台同窓会総会 仙台市馳走亭
 - 「睦水」第11号発刊打合せ
 - 30日 第5回役員会 気仙沼西洋高校
 - 兼「睦水」第12号発刊打合せ
 - 3月 1日 卒業式 同窓会入会式 気仙沼市総合体育館
 - 4月 9日 「睦水」第12号発刊 気仙沼西洋高校

平成24年度 事業計画

- 24年
 - 4月 9日 入学式 気仙沼市総合体育館
 - 20日 学校三役歓迎会 竹の里(市内)
 - 5月22日 第1回役員会 気仙沼西洋高校
 - 6月18日 第2回役員会 気仙沼西洋高校
 - 7月 1日 関東同窓会 総会 第一ホテル両国
 - 13日 気仙沼西洋高校同窓会 総会 気仙沼ホテル観洋
 - 9月30日 第3回役員会 気仙沼西洋高校
 - 10月24日 仙台同窓会 総会 KKRホテル仙台
 - 11月 9日 同窓会創設100周年記念講演会
 - 気仙沼ホテル観洋
 - 12月 1日 第4回役員会 兼 忘年会 泰平寿司
- 25年
 - 1月27日 第5回役員会 気仙沼西洋高校
 - 兼「睦水」第13号発刊打合せ
 - 3月 1日 「睦水」第13号発刊 気仙沼西洋高校
 - 卒業式・同窓会入会式 気仙沼市総合体育館

生徒、職員一同心より感激しているところでございます。三つ目は、今回の同窓会創設一〇〇周年記念事業として本校同窓会が企画して下さいましたパラリンピック選手佐藤真海さんによる講演会が開催されたことです。ご本人の苦闘の生活から得られた強靱な精神力と、走り幅跳びに寄せるとばしる彼女の情熱を披瀝頂き、向洋高校生の心に赤い灯をともして頂きました。恐らく同窓生の皆さんの後輩に対する想いを、佐藤真海氏に託して送られたエールと受け止めております。

同窓生の皆さんのこの一年間の御厚意に心より感謝を申し上げますとともに、母校の確たる将来への道筋をしつかりとつけて頂いておりますことに、この上ない喜びを感じているところでございます。私も校長として折に触れて生徒たちに同窓会並びに諸先輩からの熱い想いと後輩たちへの期待というものを力説してまいりますことをお届けし、結びと致します。

平成24年度 同窓会 総会

7月13日(金)午後6時よりサンマリン気仙沼ホテル観洋にて60名余の同窓生が集い行われました。森塚男副会長から母校再建について進捗状況の報告の後、平成24・25年度の役員改選を行い、熊谷幹夫会長を始め40名体制で2年間担当することになりました。また、同窓会創設100周年を記念しての行事の実施について承認をいただきました。「総会参加人数が毎年目減りしていますがどのようにしたら会がもっと盛大になるのか」、「母校のために何が協力出来るのか」など活発な意見が飛び交いました。

気仙沼向洋高等学校同窓会創設100周年記念講演会

平成24年11月9日13時より、サンマリン気仙沼ホテル観洋にて、生徒360名、教員50名、同窓会・来賓50名の参加を得て記念講演会を行いました。開会式において同窓会会長は「今年7月開催の同窓会総会に於いて一年遅れとなりますが祝賀式典等は行わないまでも、営々と歴代会長を中心として築いて来られた伝統ある同窓会です。創設百年の区切りとして何か記念事業をと云う事で、総会での承認を得て、記念講演会を開催する事に致しました。講師には仮設の校舎で学ぶ生徒諸君と復興に向かって頑張る皆様に勇気、元気を与えられる人とは云う事で、若く年齢も生徒に近く、しかも誰でも知っている人でアテネ、北京、ロンドンのパラリンピック三大会連続出場の気仙沼出身、佐藤真海選手が最もふさわしいと役員会で決定しました。東日本大震災で不遇をかかっている在校生諸君、実習も部活動もままならず不便な学校生活の中の在校生諸君にとって、夢に向かって常に前を向いて進む折れない心、強い気持ちを学んで欲しいと思います。」と挨拶の後開会されました。講演会に続いて、同窓生70名が参加して和やかに懇親会が行われました。



▲佐藤真海氏による講演の様子



▲生徒・同窓生代表の花束贈呈



▲感謝を込めて校歌斉唱!



▲懇親会の始まり! 気分は高校生



仙台同窓会

仙台同窓会会長

畠山 昭伍

(昭和23年3月卒)

昭和23年一景島の校舎を築立ち半世紀以上が過ぎ去り、今更ながらの感が深い。「ふるさと」を離れて住む各々に去来する三陸の青い海、そして緑ゆたかな山々に思いをはせると少年時代を思い出す。友との音信はわずかに残る程度で今では縁のうすいところだが少年の頃の想い出は今でも鮮明に残っている。この緑ゆたかな「ふるさと」が平成23年3月11日、東日本大震災の大津波により壊滅的な被害を受けた。この惨状を目のあたりにし、ボウ然として立ちすくみ、混乱するばかりであった。多くの同窓会員や身内が被災する中、これからどうするのか、どうなるのかすべてが気がかりで心配ばかりだった。そんな中、仙台同窓会も会員有志と連絡を取り合いなが

ら被害を受けた母校のために何をすべきか、何が出来るのか、様々な意見があるなか最終的な判断として取りあえず義援金を募り、生徒の皆さんが安心して学校生活を送れるよう環境整備等に役立てていただけることを願い、多くの同窓生からご協力をいただき本部同窓会を通じて仙台同窓会畠山孝行幹事長が母校の瀬戸校長に義援金をお届けした。このことは同窓会会員の一層の絆を深めることが出来たと実感している。

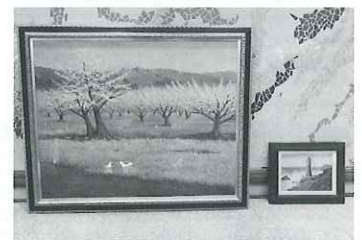
次回からは仙台同窓会の活動について申し述べてみたいと思います。



▲平成24年度 仙台同窓会総会(KKRホテル仙台)



▲菅原清画伯から学校へ油絵贈呈



▲「桜の園」「大釜・半蔵」の油絵

緑十字賞受賞

同窓会顧問 佐藤 三樹 先輩
(昭和33年3月卒)



表彰状を手にする佐藤先輩

この度、気仙沼地区交通安全協会会長として全日本交通安全協会交通栄誉章として最高位の緑十字金賞を受賞しました。

「交通事故撲滅の特効薬はないが、今後も日々着実に交通安全意識、規範意識を高めてほしい」と後輩にエールを送りました。(写真(株)三陸新報社提供)

前会長畠山徳郎さんを偲ぶ

同窓会副会長 内海 勝行



向洋高校同窓会を永年牽引していただいた前同窓会会長畠山徳郎さんは昨年十月にみんなに惜しまれながら他界しました。

畠山先輩は向洋高校をこよなく愛し、母校の名譽を重んじる活動的な方でありました。水産都市気仙沼で実業高校として、その基幹産業への将来の担い手づくりを誇りに思い、常に実践を通して手本となり、私たち後輩への指導を怠りませんでした。

震災前、実習船宮城丸出港式での激励の挨拶が鮮明に思い出されます。「諸君は多くの高校生が体験できない素晴らしい乗船実習を経験することを通して、仲間意識を強め礼儀を重んじ一回りも大きくなって元気で帰港してください。」と実習生に激励を述べたことがついこの間のことのように思い出されます。また、同窓会会長を務めた四年間には種々難問もありましたがその都度持ち前の決断力でその急場を乗り切り同窓会の発展にご尽力いただきました。心から感謝申し上げます。

震災後、仮の校舎での母校の存在を憂い、一刻も早く新校舎での学びの場を願っていたのも畠山先輩でした。同窓会設立百周年を超え新たな同窓会へ進みます。先輩が愛した母校への限らない発展が図られますよう天国から見守ってください。前会長畠山徳郎さんを偲び、これまでの素晴らしいご指導に感謝を申し上げご冥福をお祈りいたします。

学校便り

情報海洋科 <取得できた資格>

海洋類型

- 3級海技士(航海)筆記試験
- 1級小型船舶操縦士免許
- 4級海技士(航海)筆記試験免除認定
- 高等学校潜水技術検定(2級)
- 水産海洋技術検定

専攻科 漁業科 <取得できた資格>

- 3級海技士(航海)
- 第1級海上特殊無線技士
- 船舶衛生管理者

<就職>

- 八興漁業株式会社
- 極洋水産株式会社
- 音代漁業株式会社
- 大倉漁業株式会社
- 株式会社永盛丸
- 大濱漁業株式会社
- 田中海運株式会社

<進学>

- 仙台リゾート&スポーツ専門学校
- 気仙沼医師会付属看護学校
- 専攻科漁業科

<就職>

- 宮城県職員
- 鶴見サンマリンタンカー株式会社
- 株式会社デュカム
- 東京汽船株式会社
- 株式会社ダイトコーポレーション

担い手育成に向けて 海洋類型 後藤 和政

来年度においては現在建設中の仮設実習等での授業実習が可能になり、また実習教材においても整備されるため教育環境が向上できるものと期待しております。今後も水産業、船員の担い手を育成する教育機関として同窓生、地域の皆様のご協力をいただきながらより良い環境で学習活動が展開できるよう工夫して参ります。



▲ハワイ沖での宮城丸乗船実習

情報電子類型 <取得できた資格>

- 第2級陸上無線技術士
- 第1級陸上特殊無線技士
- 第3級総合無線通信士
- 第1級海上特殊無線技士
- 船舶局無線従事者証明
- 工事担任者(総合種)(科目合格)
- 工事担任者(DD3種・DD1種)
- 工事担任者(AI3種)
- I Tパスポート
- 第2種電気工事士
- ビジネスマナー検定
- 秘書検定

<就職>

- 日本無線(株)
- NECシステム(株)
- 富士通ネットワークソリューションズ(株)
- アンリツ産機システム(株)
- 日本通信エレクトロニクス(株)
- システムステーション
- 戸部電材(株)
- 佐藤通信工業(株)
- 宮城電子サービス
- マルタク(株)
- 東京水産運輸(株)
- 東京計器(株)
- コスモシステム(株)
- 日産通信(株)
- 小野寺工業株式会社

<進学>

- SENDAI 中央理容美容専門学校
- 専門学校 ESP ミュージカルアカデミー

専攻科 無線科

- 第1級陸上無線技術士(科目合格)
- 第2級陸上無線技術士
- 工事担任者(DD1種)

<就職>

- 空港情報通信(株)
- JRCマリンフォネット(株)
- 宇宙技術開発(株)

夢をかなえてほしくて

情報電子類型 高橋 春義

今年度は3年生の進路実現のため、会社訪問を数多く行いました。また、1・2年生は各種の資格取得に力を入れ可能な限り土曜日の補習や模擬試験を一年通して行いました。実習室が幸いにも校舎内に設置されていたため、ご支援頂いたパソコンや国費・県費での実習・測定機材が揃いある程度の実習が行えました。次年度4月からは総合実習棟に電子制御室や電子工作室等が設置され、校舎は仮設ながら完全復旧のメドを立てることが出来ました。皆さんのお力添えに感謝申し上げます。今後は生徒募集に力を入れ、大いに発展する情報通信の業界について地元中学生に興味関心を示してもらえようように、保護者のご理解を得られるように工夫しようと考えております。今後とも変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い致します。



▲仮設でのGMDSS通信運用実習



▲加茂水産高での缶詰製造実習

現状と課題

産業経済科 船引 裕介

3年生39名は7月に、山形県立加茂水産高校の製造工場で3泊4日のサンマ味付け缶詰製造実習を行った。1回目の実習を終

産業経済科 <取得できた資格>

- 危険物取扱乙種全類
- 全商簿記実務検定1級
- 全経電卓計算能力検定7段
- 全商ワープロ実務検定1級
- 日商販売士検定3級

えた夜に生徒全員で自主的にミーティングを行い、翌日の作業効率の改善についてプランを立てると言う予想外のことが起きるなど、本実習は大きな成果をあげた。工場実習は自主性・協力・責任について学ぶことができる不易の学習だと改めて感じた。実習工場の完成が待ち遠しい。

<就職>

- 株式会社フジプランニング
- 株式会社わかき生活
- 株式会社利久
- 日本レストランサービス
- 有限会社バリ
- アイリスオーヤマ
- 株式会社ホテルニュー水戸屋
- 気仙沼プラザホテル
- 吉吉商店
- 南三陸観光
- 株式会社マルエイ
- 聖和短期大学三和
- 崎陽軒
- 白石食品工業株式会社
- 有限会社岩沼屋ホテル校
- 株式会社ファイブフォックス
- 山崎製パン株式会社
- 小野万
- 千葉誠

<進学>

- 立正大学
- 聖和短期大学
- 東京IT専門学校
- 東北栄養専門学校
- 東北保健医療専門学校
- 盛岡医療福祉専門学校
- 気仙沼医師会看護専門学校
- 東北生活文化大学短期大学部
- 仙台医療福祉専門学校
- 東北ヘアモード学院
- 東北総合ベトナム専門学校
- 仙台ウェディングブライダル専門学校
- 武蔵野調理師専門学校
- 気仙沼専攻校

機械技術科 <取得できた資格>

- 危険物甲種
- 危険物取扱乙種全類
- 工事担任者(DD3種)
- 工事担任者(AI3種)
- 第2種電気工事士
- 3級機械検査技能士
- 3級機械保全技能士
- 3級電気機器組立技能士
- パソコン利用技術検定2級
- 情報技術検定2級
- ガス溶接技能講習修了
- アーク溶接特別教育修了
- トレース技能検定2級

<就職>

- アクティオ
- スマハツ
- 桜井製作所
- 日産自動車
- 戸部電材
- 東北発電工業
- 株式会社おやま製作所
- 萩野谷塗装店
- キャノン電子
- 株式会社リコー
- 小森コーポレーション
- 富士重工株式会社群馬製作所
- 東北計器工業
- クマケ建設
- 株式会社おやま製作所
- 北斗
- クボタ
- 厚木事業所
- 三陸銅料

<進学>

- 東北工業大学
- 仙台接骨医療専門学校
- 東北電子専門学校
- 赤井自動車学校
- 宮城県立気仙沼高等技術専門学校
- 宮城県立仙台高等技術専門学校
- 宮城県立大崎高等技術専門学校
- 仙台医療福祉専門学校
- 東日本航空専門学校
- 東北職業能力開発大学校

ものづくり人材の育成

機械技術科 武田 修司

今年度は、週に2回米谷工業高等学校での実習を1学年と2学年が11月迄、3学年の課題研究を隔週1回12月まで実施しました。機材が十分に揃わない中、様々な分野より今年度もご協力を頂き、生徒の一つでも多くの資格取得や技能の習得を目標に取り組みで参りました。次年度より仮設の実習棟が完成し、設備も導入されることから、今後も一層の授業・実習の充実を図っていきたく思いますので宜しくお願い致します。

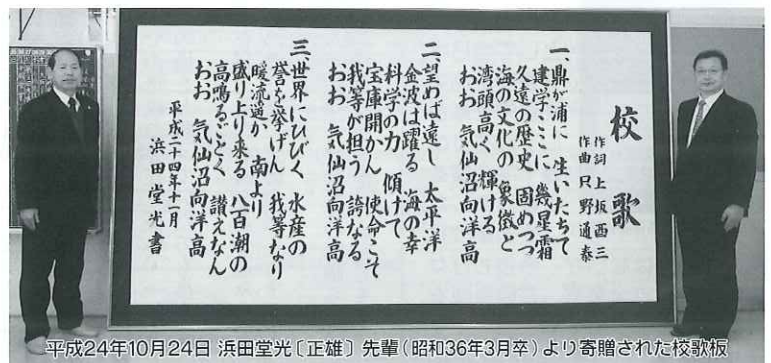


▲米谷工業高での旋盤実習

編集後記

同窓会会報「睦水」第13号を発行するにあたりましてご協力頂きました皆様一言御礼申し上げます。今年度は作業開始の出足が遅れ、原稿依頼等短期間での依頼にもかかわらず快く応対して頂きまして、大変感謝申し上げます。同窓会の動きを出来るだけ早く皆様にお伝えするように、年2回発行してはとのご意見を頂いているところで、今後皆様のご支援、ご協力を頂きながら育てて参りたいと思っております。

会報「睦水」編集委員会



平成24年10月24日 浜田堂光「正雄」先輩(昭和36年3月卒)より寄贈された校歌板